

六ヶ所再処理工場の本格稼働中止を求める意見書の提出について

【請願理由】

青森県六ヶ所村に建設された「六ヶ所再処理工場」は、日本国内の原子力発電所で燃やされた使用済み核燃料から、燃え残りのウランとプルトニウムを取り出すための化学工場です。その本格稼働が間もなく始まるということで、現地では放射能汚染に対する不安の声が大きくなっています。

再処理工場では、一般的な原子力発電所と比べて格段に多くの放射能が排出されます。六ヶ所村の沖合い3キロ地点まで地下パイプを通して運ばれた放射性廃液は、深さ50メートルの海底から上向きに放出されて海流に乗り、下北海域のみならず、三陸海岸から東日本全域が放射能汚染されると予想されていますし、空中に拡散した放射能は、東北地方から東日本全域を覆います。この放射能汚染が農業・漁業に与える影響は大変大きく、これまで豊かな自然のもとで農水産物を生産・供給し、自然と安全な食べものを守ってきた地域住民の努力を踏みにじるだけでなく、その恩恵を享受してきたわたしたちも大きな影響を受けることになります。

この再処理工場で生産されるプルトニウムは、核兵器の原料にもなり、ウラン燃料に比べても取り扱いの危険度が高い物質です。日本はすでに多量のプルトニウムを保有していますが、プルトニウムを利用することになっている高速増殖炉もんじゅは事故で現在停止中、プルサーマル計画もさまざまなトラブルで頓挫している状況です。多額の費用をかけて利用することのできない危険な物質を製造し、甚大な環境汚染を引き起こすこととなります。

食の安全が脅かされている今、日本国内で安全な食品を供給することが差し迫った課題です。生産現場の豊かな自然環境と農水産物を放射能で汚染しないように、六ヶ所再処理工場の本格稼働の中止を求めるため、次の事項についてお願いいたします。

【請願事項】

政府に対して、六ヶ所再処理工場の本格稼働を中止するよう、意見書を提出してください。

小平市議会議長 小林秀雄 殿

六ヶ所再処理ストップ小平市民の会

代表 豊崎千津美 小平市小川町2-2061C-205

名 前	住 所